

第 48 号

平成28年  
4月1日発行

# MIDORI KITAKYUSHU みどり北九州



北九州緑化協会

発行所

一般社団法人 北九州緑化協会

〒805-0033 北九州市八幡東区山路松尾町14番2号

発行人/水野貞明 編集/広報委員会

TEL.093-654-1233 FAX.093-654-1231

e-mail : [info@kita-ryokka.or.jp](mailto:info@kita-ryokka.or.jp)

ホームページアドレス : <http://www.kita-ryokka.or.jp>

## ご挨拶

こちら公園緑地部 勝山公園(小倉城周辺)魅力向上事業

環境と緑 平成27年度 公益活動報告

第8回「都市と自然の共生」シンポジウム開催

都市緑化祭出展協力

「到津の森公園」環境整備支援活動

公共樹木(街路樹等)診断研修会

グッドニュース 「(株)西日本緑化 小松奈津子氏」

次世代を担う経営者たち 「(株)みらい 安本浩喜氏」

初めまして「〇〇」です

平成27年度 協会活動報告

樹木医からの一言

会員名簿

掲示板

「写真:東田第一高炉跡」  
撮影:編集部

# ご挨拶



北九州市長 北橋 健治

水野会長をはじめ一般社団法人北九州緑化協会の皆様には、日頃から公園緑地の維持・管理や、「都市緑化祭」のイベント実施、「到津の森公園」での園内整備、「姉妹都市タコマ市の日本庭園の設計協力」など、本市の環境緑化の推進及び国際交流に多大なご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

昨年7月に、宮宮八幡製鐵所関連施設が世界文化遺産に登録され、本市は「世界遺産のある街」になりました。

また「国家戦略特区」に指定されるとともに、すでに指定されている「グリーンアジア国際戦略総合特区」の継続が決まるなど、国と共に日本のフロンティアとして、新しい第一歩を踏み出せる環境が整いました。

今年、「元気発進！北九州」プランや「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市のポテンシャルを活かした産業振興を推進し、女性や若者からアクティブシニアまで、あらゆる年代の方々が活躍し、人と呼び込む魅力あるまちづくりを進めます。

さらに、魅力的な都市景観の形成や来訪者に対する本市のイメージの向上を図るため、市民・企業との協働で、四季折々の花や木の咲く木からなる「彩りと潤いのあるまちづくり」を推進します。

5月には「伊勢志摩サミット」にあわせて、九州で唯一の「G7北九州エネルギー大臣会合」が開催されます。国内外からの多くのお客様に楽しんでいただけるよう小倉城周辺の歴史的・文化的な資産を活かした園路広場等の改良を行うなど、回遊性のある名所として整備を進めています。市民一丸となつた万全のおもてなしで会合を成功に導き、「世界の環境首都」を目指す本市の魅力を国内外に発信してまいります。北九州緑化協会の皆様にもご理解とご協力をお願い申し上げます。結びに、一般社団法人北九州緑化協会の今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念します。



一般社団法人北九州緑化協会  
会長 水野 貞明

## 新年度を迎えて

新年度を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年度もお蔭様で、さまざまな活動を展開することが出来ました。公益活動として各種講演会や技術研修会の開催、都市緑化祭への参加、到津の森公園での環境整備ボランティア活動等々。

特に昨年の11月6日に開催した第8回「都市と自然の共生」シンポジウムでは、講師に鷲谷いづみ中央大学教授、伊東啓太郎九州工業大学准教授をお招きし、貴重なお話をいただきました。また、横矢順二建設局長には北九州市が目指している「世界の環境首都」を踏まえ、生物多様性保全の観点から事例を交えた、ご講演をしていただきました。

恒例となりました、このシンポジウムが、北九州市に於いて「自然環境保全」や「生物多様性確保」に向けて市民の理解の一助となれば幸いです。

さて、我が国では、東日本大震災から得ることが出来た教訓を踏まえ、国土強靱化に向けた取り組みが始まっています。中でも地球温暖化による気候変動が進む今日、自然生態系のもつ、防災・減災機能等を生

かす「グリーンインフラ」の考え方が、新しい社会資本整備としてクロースアップされています。これは、自然環境が有する多様な機能を活用することによって、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを推進することでありませう。

私共は、日頃から「自然」や「緑」との関わりの深い業種でありますから、その特性や日頃培ってきた技術力を十分に生かすことによって、この分野において、将来に向かっての社会的役割を見出すことが出来るのではないかと考えています。

本年度も、美しい北九州市の都市景観の実現や潤いのある生活空間をめざす「都市緑化の推進」や、環境に関わる「都市と自然の共生」をテーマに、専業者であるとの意識のもと、より一層の展開をしてまいります。

また新たな施工技術の向上、伝統的造園技術の継承・発展や経営の合理化に向けた取り組みも一層強化したいと考えております。

皆様方のより一層の御指導・御支援をお願い申し上げますとともに、ますますの御発展を心からお祈り致します。



**勝山公園(小倉城周辺)  
魅力向上事業**

「伊勢志摩サミット」(5月)にあわせて九州で唯一「G7北九州エネルギー大臣会合」が本市で開催されます。これを機会に国内外からの多くのお客様に楽しんでいただけるよう小倉城周辺魅力向上事業を進めていきます。

**(1) 事業の目的とテーマ**

本事業は、小倉城周辺エリアにおいて、「北九州 小倉ならでは」の地域資源の魅力を再発見し、磨き上げることで、このエリアの持つ歴史的、文化的なイメージを生かした整備、にぎわいづくりイベントなどを行い、集客力や回遊性のある「誰もが一度は、そこを訪れてみたい」と思う観光・文化の名所とするものです。

**(2) ターゲットの視点**

北九州市を訪れる「国内観光客」や「外国人旅行者」及び「市民」という3つのターゲットに注目し、事業を推進します。

**(3) 事業の方向性・方針**

「北九州・小倉の歴史、文化資源を活かし



紅葉計画イメージ(夜)

た新たな魅力づくり』

『来訪者の回遊性・にぎわいや交流が生まれる空間づくり』

『北九州・小倉』ならではのおもてなし・シビックプライドの醸成』

**(4) 取り組む事業の内容(主に公園関連)**

事業1「歴史資源の発掘、再生による集客拠点づくり」

・小倉城・小倉城庭園のリニューアル

・小倉城大手門などの復元の検討

事業2「既存資産を活用した歴史を感じる魅力空間づくり」

・小倉城内(本丸、松の丸等)の再整備

・小倉城庭園のリニューアル(樹木の整理や池の改修など)

事業3「北九州の文学と出会う空間づくり」

・文学碑、万葉の碑など情報発信の



雑木林俯瞰写真



小倉城和風オープンカフェ

強化  
・雑木林の活用による魅力的な空間づくり

事業4「にぎわい・交流拠点の整備」

・勝山公園の民間活力によるにぎわい強化

・平和を祈念する空間の整備

などの事業を展開します。

**(5) 勝山公園(小倉城周辺)**

魅力向上の取り組み

前記した事業のうち、「小倉城内(本丸、松の丸等)の再整備」と「雑木林の活用による魅力的な空間づくり」をご紹介します。

○「小倉城内(本丸、松の丸等)の再整備」  
花見の名所として名高い小倉城のブランド価値を一層高めるため、「桜の城」として効果的な桜の植樹を行います。また、

春の桜だけでなく、秋の美しい紅葉など四季の移り変わりによって表情を変える場所づくりとして、紅葉などの植樹も行います。あわせて城内全体の歴史的魅力と回遊性の向上を目的として、「和」を意識した再整備を行います。さらに、城内に点在する石碑、野戦重砲、第十二師団司令部正門跡などについても再整備を行い、これに併せ、近代における小倉城の歴史なども案内板で紹介します。

○雑木林の活用による魅力的な空間づくり

中央図書館・文学館と松本清張記念館をつなぐ導線として位置づけ、「文学」をテーマに再整備を行います。樹林地を活用しながら、文学作品や俳句の季語に使われた草花の植栽など、趣のある園路をつくります。また草花に関連する作品や作家の解説板、観光客や愛好家の憩いの場として四阿なども設置します。

(記：建設局公園緑地部)

# 公益活動報告 (平成27年4月～平成28年3月)



## 第8回 「都市と自然の共生」 シンポジウム開催

11月6日(金)、北九州国際会議場において、第8回目となるシンポジウムを開催しました。今回は、中央大学の鷺谷いづみ教授、九州工業大学の伊東啓太郎准教授、北九州市の横矢順二建設局長の3名を講師として迎え、まず各講師から基調講演をいただいた後、北九州市保健福祉局の東田倫子課長をコーディネーターとして意見交換会を行いました。



鷺谷いづみ氏

基調講演① 鷺谷いづみ氏「生態系インフラストラクチャーのすすめ」  
生態系インフラストラクチャーとは、自然環境を保全・再生することで多様な生態系サービスを積極的に活用し、それを持続的に役立てようというものである。アメリカのパリアのドナウ・アウエン国立公園では、氾濫原の再生が洪水被害の軽減に役立てられてお

り、災害を自然の営みの一部と捉えてリスク管理を行うことの有効性が示されている。こういった考えは日本でも国土交通省が国土形成計画に取り入れ、渡良瀬遊水地においても湿原の再生が行われている。生態系インフラには防災・減災以外にも、生態系の深化、レクリエーションとしての活用、バイオマス資源の提供などの多様な機能が期待でき、その多様性と合わせ、環境負荷も少なく不確実性に強いという点でも有用であり、従来のインフラに代わるものとしてより活用されるべきと考える。

基調講演② 伊東啓太郎氏「都市の生物多様性とランドスケープデザイン—子供の遊び、協働、自然再生の設計プロセス—」  
グリーンインフラの設計においては、対象を発展・変化するものと捉えて計画し、様々な要素を重ね合わせる事が重要である。遠賀川の魚道公園では護岸の一部を近自然型に再設計し、環境負荷の少ないデザインを取り入れた。夜宮公園の巡り坂池の再整備では、都市化が進むにつれて失った水辺風景への回帰を目指した。どの事例でも自然の再生事業によるサービスの向上を期待し、実際に多くの効果が現れている。ただ、一度失った自然を再生するのは困難であり、多くの場合においては「現在の解答」で答えるしかない。現代には都市化の反動としての自然への希求がある。また自然には言葉や文字で伝えられない「体験」を得る場としての役割も大きい。「自然資本宣言」や「グリーン



伊東啓太郎氏

経済」のように、経済発展と環境保全の両方の課題を同時に解決しようとする動きの中で、生態系サービスを

生かすデザインの重要性はさらに増していくだろう。



横矢順二氏

基調講演③ 横矢順二氏「北九州市のグリーンインフラストラクチャー」  
現在、「北九州市緑の基本計画」をもとに、環境首都にふさわしい緑づくりを行っている。例えば、「東田グリーングリッド」では緑の軸の形成や生物多様性の創出を目指した。また「板櫃川の自然再生」では、遊水機能を高めるとともに自然との共生にかかると地域連携の取組みが行われ効果を上げていく。またコンパクトシティ化に伴う施設の再配置として「戸畑D街区整備」に関わる公園統廃合の取組みもあり、都市の再構築という大きな視点から、都市と緑の関係を、山田緑地において「30世紀の森づくり」を基本理念に千年の森づくりに取り組んでおり、国土交通省から委託され「生物との共生モデル」の実証調査を行っている。今後、山田緑地を拠点に緑のネットワーク化を進めたい。

### 意見交換会

「世界の環境首都を目指す北九州市におけるグリーン(生態系)インフラストラクチャー形成による持続的で魅力ある地域づくりについて」をテーマに次のような意見が交わされました。

「もともとこの地形と違う自然には、より維持費がかかる。そのため伝統的管理が行われていた時代の生き物が姿を消している。自然再生によるメンテナンスフリーをこころがけ、次の世代への持続可能性を」

「外来種はそこに至るまでに様々な



東田倫子氏

「自然にも段階があり、野性と家畜とペットに例えられる。まったく手つかずの物、人間に役立つよう改良されたもの、個別で存続できないもの。必ずどこかに偏る」  
「芝生だけの広場は生態系に寄与しない、緑の砂漠と同じ。生態系機能を組み込んだデザインを目指すべき」  
「子供に教える際、外来種は悪い・殺してもいい、ではなく、生物同士のつながりを意識して、減らす・取り除く、といった観点が大事。自然に触れて生命倫理を学ぶ機会に」  
などの意見がありました。

今回のシンポジウムでは、緑に関する新たな考え方に触れて見識を広げるとともに、社会基盤として整備されていくべき自然生態系の重要性や、持続可能な維持管理の手法について考えるよい機会となりました。国土形成や都市基盤整備のあり方が、グレイからグリーンへ、よりよく変わっていくことが期待されます。



# 環境と緑 平成27年度

## 都市緑化祭出展協力

10月18日(日)、第39回北九州市都市緑化祭において、当協会も緑化事業の協力団体として事業委員と若松支部の会員を中心に、昨年に引き続き「グラウンドゴルフでホールインワン」というイベントを行って参加協力しました。

子どもから大人まで楽しめるグラウンドゴルフの体験を通して、緑溢れる自然の中でスポーツの楽しさを知っていただくという趣旨のもと、ホールインワンを目指して、小学生以下の子どもさんを対象としたコースに62名、中学生以上の方を対象とした一般コース

には40名の方々のご参加をいただきました。今後も様々な地域貢献活動を通じていくこととしていきます。



## 「到津の森公園」環境整備支援活動

今年で8回目となる「到津の森公園」環境整備活動を小雪の舞う2月16日(火)に行いました。伸びたツタ類の刈り取り、繁茂した枝葉の剪定、台風被害木等

の片付けなど会員企業からなる総勢48人が、日頃から鍛えた手際のよい作業で「樹冠の世界」や「郷土の森林」一帯をきれいにしました。



岩野園長



樹冠の世界



郷土の森林

## 公共樹木（街路樹等）診断研修会

11月17日(火)、到津の森公園におきまして公共樹木（街路樹等）診断研究会が開催されました。

午前中には、「大径木化時代の街路樹リスクマネジメント」の題目で講師に樹木医である千葉大学園芸学部特任助教 細野哲央氏を迎え講義が行われました。樹木のリスク管理として、いくつかの事例、判例をもとに求められるリスク管理、適切なリスク管理を提示して頂きました。公園緑地に携わる私達にとりましてはそのリスクと向き合うことの大切さを認識させられる講義となりました。

午後からは、「福岡市の街路樹診断の結果と

その活用」の題目で樹木医であられる（公財）福岡市緑のまちづくり協会の西川誠二郎氏の講義が行われました。

街路樹診断の必要性、診断方法、さらには成果と福岡市での取り組みを解りやすく説明して頂きました。適切な樹木診断による危険木の把握、対応により倒伏事故の発生を未然に防ぐことが可能になる事実には大きな興味が注がれる講義となりました。

続きまして国土交通省国土技術政策総合研究所 緑化生態研究室主任研究官 飯塚康雄氏による特別講話が行われました。

そして最後には、高所樹上作業としてのツリークライミング実地研修を行いました。講師には、ツリークライミング研究会の代表 喜田賢太氏を迎えて行われました。あいにくの雨模様の中での実地研修となりましたが、ロープを使用したツリーワークを駆使して行う高所樹上作業を体験する非常に有意義な実地研修となりました。



細野哲央氏



西川誠二郎氏



飯塚康雄氏



喜田氏(左)と野田氏(右)



講義の様子



実地研修(ツリークライミングによる高所診断・治療)



### 当協会員 小松奈津子氏が『北九州技の達人』に認定されました!!



当協会員の小松奈津子氏(㈱西日本緑化 代表取締役)が「第8回『北九州技の達人』」に認定されました。

『北九州技の達人』とは、北九州市内において、長年にわたり技能の研究、後進の育成に努め、優れた技能で産業振興や市民生活の向上に貢献

している技能者として認定されるもので、小松氏は樹木医として表彰されました。当協会では、水野貞明氏(㈱水野文化園代表取締役)が「第6回『北九州技の達人』」に認定されています。

小松氏は、樹木医の他ビオトープ施工管理士や自然再生士などの資格も取得されており、会社経営に、また緑に関する各分野の専門家として活躍されています。

今後ますますのご活躍を心より期待します。※活躍の様子は、RKB毎日放送『開け!!キタキウウ人図鑑(平成27年6月13日放送)』でも紹介されました。

### 次世代を担う経営者たち



代表取締役 (㈱みらい) 安本 浩喜

造園業に携わり、20年という節目の年に独立の夢が叶いました。

昨年の7月、元協会員の(有)平山峯州園様のご厚意により、事業継承をさせていただき、心機一転の決意で(㈱みらい)を発足いたしました。

しかし、この一年は、私一人の力や能力がいかに非才なものであるかを痛感させられ、改めて「お陰様」という言葉の持つ意味を考えさせられた年でした。

これからは、御恩返しのご気持ちで、微力ながら造園業界の皆様にご貢献出来るように頑張っております。

そして何よりも、職人であるということに誇りを持ち、額に汗し、お客様に感謝される仕事をしたいと思っております。

また、諸先輩方から学ばせて頂いた知恵や優れた技法を次の世代にしっかりと引き継げるよう、努力を重ねてまいります。

公園整備、公園除草に街路樹剪定、個人邸等の庭園管理、「きれいになったね。有難う。」の言葉をいただいた時の無上の喜びが日々の糧です。

当たり前のことですが、初心を忘れず、おこらぬ、謙虚な心を持ち続ける人間でありたいと思っております。

これまでご支援くださった皆様方に、感謝を申し上げますとともに、今後も叱咤激励を賜りたいと思っております。

緑に携わる皆様方に、明るい「みらい」がありますようにお祈りいたします。

### 初めまして「〇〇」です

(市職員の横顔)

建設局公園緑地部緑政課

垣田 菜美さん



建設局公園緑地部緑政課の垣田菜美です。出身は愛媛県の田舎で海と山に囲まれた大自然の中で育ちました。大学は鹿児島大学で、ときどき降ってくる桜島の火山灰を浴びながらも4年間楽しく過ごしてきました。

私は、健康にはとても自信があります。小・中学校では皆勤賞をとりました。現在は一人暮らしのため、栄養バランスに気を遣った食生活を心がけ、健康な体を維持したいと考えています。

趣味は、私の大好きなキャラクターである「ミニオン」のオリジナル作品を作ることです。最近では、カレンダーやアクセサリーを作りました。趣味でありながらも、このような創作活動はこだわりが強くでてしまうため、仕事と同じくらい真剣に取り組みます。3月には、「ミニオンズラン」というイベントがグリーンパークで開催されると聞き、すぐさまエントリーしました。今からとても楽しみにしているところです。

私は新規採用職員なので、まだ十分に仕事をこなせているとは思っていません。特に私が苦労していることは、人に物事をうまく説明することです。仕事上、上司に報告したり、市民に説明したりする必要がありすが、相手になかなか理解してもらえないことが多々あります。その原因は、自分自身が内容をきちんと把握していないことだと考えたので、まずは自分自身が内容をきちんと理解し、5W1Hを徹底して内容を整理して、報告や説明をするように心がけています。また、私には業務に関する知識が足りないといつも感じていたため、少しでも業務に関する知識をつけようと思ひ、最近では自分でルールをつくり、職場の誰よりも早く出勤し、朝の時間を有効に利用しています。

まだまだ未熟者ではありますが、早く一人前の職員になって、自信を持って業務に励むことができるように精一杯努力していきたいと思っております。

# 平成27年度 協会活動報告

## 〈平成27年〉

5月17日 親睦グラウンドゴルフ大会を合馬竹林公園で会員企業からの参加者46名で開催する。  
**(事業委員会)**

6月10日 定時総会を響灘緑地研修館で開催する。平成26年決算及び平成27年予算が承認された。また平成27-28年度の役員が選出される。  
**(総務財政委員会)**

10月18日 都市緑化祭に「グラウンドゴルフでホールインワン」を出展する。  
市民の参加者は大人と子供で102名が遊ぶ。  
**(事業委員会)**

11月6日 第8回「都市と自然の共生シンポジウム」を北九州国際会議場で鷺谷いづみ中央大学教授ほかを講師に迎え開催する。一般市民18名を含む99名が参加した。  
**(総務財政委員会)**

11月17日 「公共樹木(街路樹等)診断研修会」を到津の森公園で細野哲央千葉大学特任助教ほかを講師に迎え開催する。市職員21名を含む61名が参加した。  
**(技術委員会)**

## 〈平成28年〉

1月20日 「新春みどりの集い」をステーションホテル小倉で今永博副市長ほかの来賓を迎え参加者98名で開催する。  
**(総務財政委員会)**

2月16日 「到津の森公園」環境整備活動(樹木剪定、枯損木撤去など)を会員企業から48名が参加して行う。  
**(事業委員会)**

3月16日 「チエーンソー取り扱いの特別教育」を響灘緑地研修館で重機メーカー講習センターの

講師を迎え開催する。会員企業の社員など約30名が受講した。  
**(技術委員会)**

3月 「樹木医試験受験対策講習会」を開催。  
※7月の筆記試験まで計10-15回程度の開催を予定しています。興味のある方は、途中からでもぜひご参加を。  
**(青年部 技術委員会)**

## 〈年間〉

平成25年度より継続している目串づくりも順調に進んでいる。青年部で行う切り出し・加工の作業が、造園資材になり障害者福祉にも役立つています。  
**(青年部)**

広報紙「みどり北九州48号」の編集作業を行った。協会ホームページの内容検討、更新作業を行った。  
**(広報委員会)**

そのほか「第20回花と緑のまちづくりコンクール事業」及び「エコライフステージ2015事業」へ協賛する。



グラウンドゴルフ大会



総会



新春みどりの集い



総会 永年勤続表彰式 (緒方氏)

## 樹木医一言

### 水野貞明からの



20

有機物を分解する酵素を持つのは主に微生物であり、シロアリやミミズのような土壌動物は消化酵素の多くを微生物に頼っているのである。

シロアリは後腸が大きく発達しており、内部に原生動物や細菌を共生させ、分解されにくい有機物を利用して生きている。

一方ミミズは、土壌とともに微生物を消化管に取り込む。消化管のなかには微生物の餌になる水分や有機物が充分あり、土壌よりも栄養条件が良いために、微生物は盛んに活動する。

ミミズは微生物が酵素によって分解した有機物を腸から吸収することで、微生物に与えた餌よりも多くの見返りを受けたうえ、不必要なものは糞として排泄する。

土壌動物は、微生物に比べると体が大きく力持ちなので、ミミズは有機物を粉砕して表面積を増やし、微生物にとって利用可能にする役割をする。

また、消化管内に外の土壌と異なる環境を持ったり、糞や坑道によって土壌環境そのものを変えたりして、微生物による分解に影響を与える。この影響は個体の寿命を超えて、数年以上にわたる。

また、微生物を直接食べる小さな動物が加わることで、枯死有機物と微生物だけでできている場合と比べると微生物間の競争関係が変化します。

微生物は土壌中の栄養塩も吸収利用するが、捕食によって微生物が減らされた結果、動物から排泄される栄養塩が微生物に独占されずに植物にも利用可能になる。

このように土壌で栄養塩のしくみを知るには、多くの種が関係するゆるやかな共生関係を調べていく必要がある。

# 一般社団法人 北九州緑化協会 会員名簿



## 正会員 (平成28年3月3日現在)

支部	商号	所在地	TEL FAX	支部	商号	所在地	TEL FAX
門司	九州環境土木(株)	800-0112 門司区大字畑 46	481-3484 481-3483	八幡南	(有)岡野造園土木	807-0845 八幡西区永犬丸南町 2-13-38	613-3804 611-2952
	(有)西新緑地建設	800-0114 " 吉志 5-12-10	481-5467 481-5476		(有)河村造園	807-1153 " 岩崎 4-1-34	618-7170 618-7515
	(有)豊西緑地開発	801-0823 " 春日町 25-24	341-3456 342-1111		(株)後藤緑化建設	807-1143 " 楠橋南 2-11-19	618-5384 618-6707
	(有)松本造園建設	801-0811 " 大字大積 666-8	341-1501 341-1502		(有)サン緑化	807-1114 " 吉祥寺町 7-40	618-1567 618-4684
	(株)水野文化園	800-0112 " 大字畑 46	481-4600 481-4680		(有)田代造園	807-1262 " 野面 740-1	617-1792 617-4518
	(株)門司造園	800-0101 " 大字伊川 504-9	481-2918 481-2630		東洋緑地(株)	807-0854 " 泉ヶ浦 2-22-41	883-8972 883-8855
	(有)門司緑地土木	800-0101 " 大字伊川 504-1	481-1897 481-1993		(株)中川碧水造園	807-1125 " 池田 2-1-3	618-0822 618-6101
	(株)青葉造園	802-0023 小倉北区下富野 5-1-3	522-0234 533-7922		平方晴宏園	807-0075 " 下上津役 3-20-24	612-5677 612-5701
小倉北	(有)アートグリーン	802-0033 " 富野台 11-8	533-3735 452-1340	(有)医生ヶ丘産業	807-0803 " 千代ヶ崎 3-1-6	601-8688 601-5338	
	朝日工産(株)	803-0853 " 高尾 1-38-5	592-4910 592-4261	(株)折園	807-0863 " 大膳 1-14-22	601-1528 691-3063	
	内山緑地建設(株)北九州支店	803-0841 " 清水 1-12-15	581-2741 571-5392	(株)九州緑化建設	806-0055 " 幸神 4-4-3	642-1267 641-0859	
	(株)梅田造園土木	803-0861 " 篠崎 3-22-5	592-0516 592-0520	古賀造園	807-0806 " 御開 3-1-5	601-0495 601-9574	
	北九州東部緑地管理(株)	803-0814 " 大手町 5-23	591-1487 591-1489	(有)清水造園	806-0047 " 鷹の巣 2-6-30	631-0694 631-0703	
	(株)九州造園	802-0026 " 大島 2-10-1	531-6121 531-6123	(有)千成造園土木	807-0875 " 浅川台 1-8-1	603-8050 603-8071	
	(株)九州緑化産業北九州支店	803-0856 " 弁天町 5-8	561-9027 561-9208	(有)寺門六香園	806-0046 " 森下町 17-1	641-2094 641-2097	
	(株)西日本緑化	803-0836 " 中井 3-3-15-107	581-4128 561-5476	野間口造園	807-0831 " 大字則松 248-1	603-3826 603-3877	
	(有)緑地管理中山工房	803-0835 " 井堀 5-3-3-202	653-4152 613-0447	(有)古門造園	806-0011 " 紅梅 4-6-5	622-4087 622-4088	
	青葉緑地建設(株)	802-0826 小倉南区横代南町 3-12-15	962-6175 962-6904	(有)山代造園土木	807-0852 " 永犬丸西町 2-1-10	693-9718 693-9706	
小倉南	(株)環境造園	800-0207 " 沼緑町 1-19-15	471-6390 472-4070	(有)渡辺造園	807-0826 " 丸尾町 11-3	602-8336 602-8362	
	(有)協同造園土木	800-0207 " 沼緑町 1-8-75	473-1509 473-3911	遠藤土木(株)	808-0142 若松区青葉台南 2-4-14	742-0331 742-0332	
	(有)グリーンカンパニー	800-0228 " 長野 1-8-22	474-5677 474-5733	(株)オーエヌグループ	808-0121 " 大字竹並 3037	741-0648 742-0370	
	小倉造園(株)	802-0821 " 横代北町 5-22-36	962-1136 962-1046	岡崎造園(有)	808-0001 " 小石本村町 2-1	771-9255 771-8580	
	(有)小倉南緑地	802-0979 " 徳力新町 1-15-23	963-0769 961-5649	荻迫緑化	808-0146 " 高須西 2-6-17	741-6816 741-6819	
	総合緑地建設(株)	803-0261 " 大字合馬 301	453-1678 453-1677	(有)三司緑化建設	808-0106 " 片山 1-2-33	701-1565 791-7955	
	(有)林造園	803-0261 " 大字合馬 981	451-1876 451-1819	(株)三宮造園土木	808-0104 " 畠田 3-4-12	701-0422 791-9223	
	(有)日浦緑地建設	800-0201 " 上吉田 5-18-14	473-5296 473-5256	(有)洞北緑地建設	808-0133 " 大鳥居 14-2	741-1820 741-1848	
	豊州造園建設(株)	800-0242 " 津田 5-9-24	473-6967 473-8084	日本緑営(株)	808-0104 " 大字畠田 943-1	791-0440 791-0441	
	(株)みらい	800-0222 " 中曽根 3-7-32	472-5999 472-4999	(有)平和造園	808-0001 " 小石本村町 1405-2	761-2298 761-7798	
東戸	(株)守恒造園建設	802-0986 " 志井鷹羽台 4-3	962-4211 962-4272	<b>賛助会員</b>			
	山本興業(有)	803-0261 " 大字合馬 234-1	451-2312 451-2312	商号	所在地	TEL FAX	
	(株)グリーンニッポ	805-0017 八幡東区山王 3-14-28	662-3201 671-1423	(株)成光社	803-0844 小倉北区真鶴 1-8-31	561-1821 561-1820	
菅原造園建設(株)	804-0094 戸畑区天神 2-2-21	883-1120 883-1121	総合園材(株)	802-0804 小倉北区若富士町 7-6(北九州事務所)	951-8850 951-8880		
眞矢造園	804-0032 " 西大谷 1-5-7	881-0711 881-0770	日本乾溜工業(株)北九州本社営業部	806-0046 八幡西区森下町 27-36	631-0237 622-2357		

### 掲示板

本誌「みどり北九州」第48号を作成しました。本誌は自然環境の改善や緑化の推進を目的とする当協会活動や北九州市の公園・緑化事業に関する情報発信のため発行しています。今号から年1回4月に配布することになりました。

また当協会では、ホームページを開設しています。「北九州緑化協会」で検索いただくとトップに出てきます。「樹木医からの一言」、「花のコーナー」や協会活動報告などをのせており、バックナンバーで検索すると本誌「みどり北九州」など一連のこれまでの内容がご覧いただけます。(広報委員会より)

青年部では、各社の代表となる方や主力となる若手社員の方を中心に活動しています。新しい方のご参加をいつでもお待ちしております。(青年部より)



緑について気軽にご相談ください。

一般社団法人北九州緑化協会

TEL:093-654-1233

### 編集後記

はじめての試みである、4月発行はいかがでしたでしょうか。

年2回の発行から1回へ変更するにあたり、元日発行にするか、4月発行にするかを協議し、全てにおいて一区切りつく4月を選びました。

日本中を驚かせた何十年に一度の大雪も、もはや夢だったかのような、桜舞い散る春爛漫の景色。さあ心機一転!今年度もがんばりましょう!